

清水比庵

笠岡関連作品 28点

風景画

13点

書(短歌)

3点

絵手紙(風景)

6点

岡本章子合作

2点

歌碑類

4点

ふるさと(1)

ふるさとに松山多し
松山に春風吹けば
春風の音蕩々たり
松山に秋風ふけば
秋風の音颯々たり

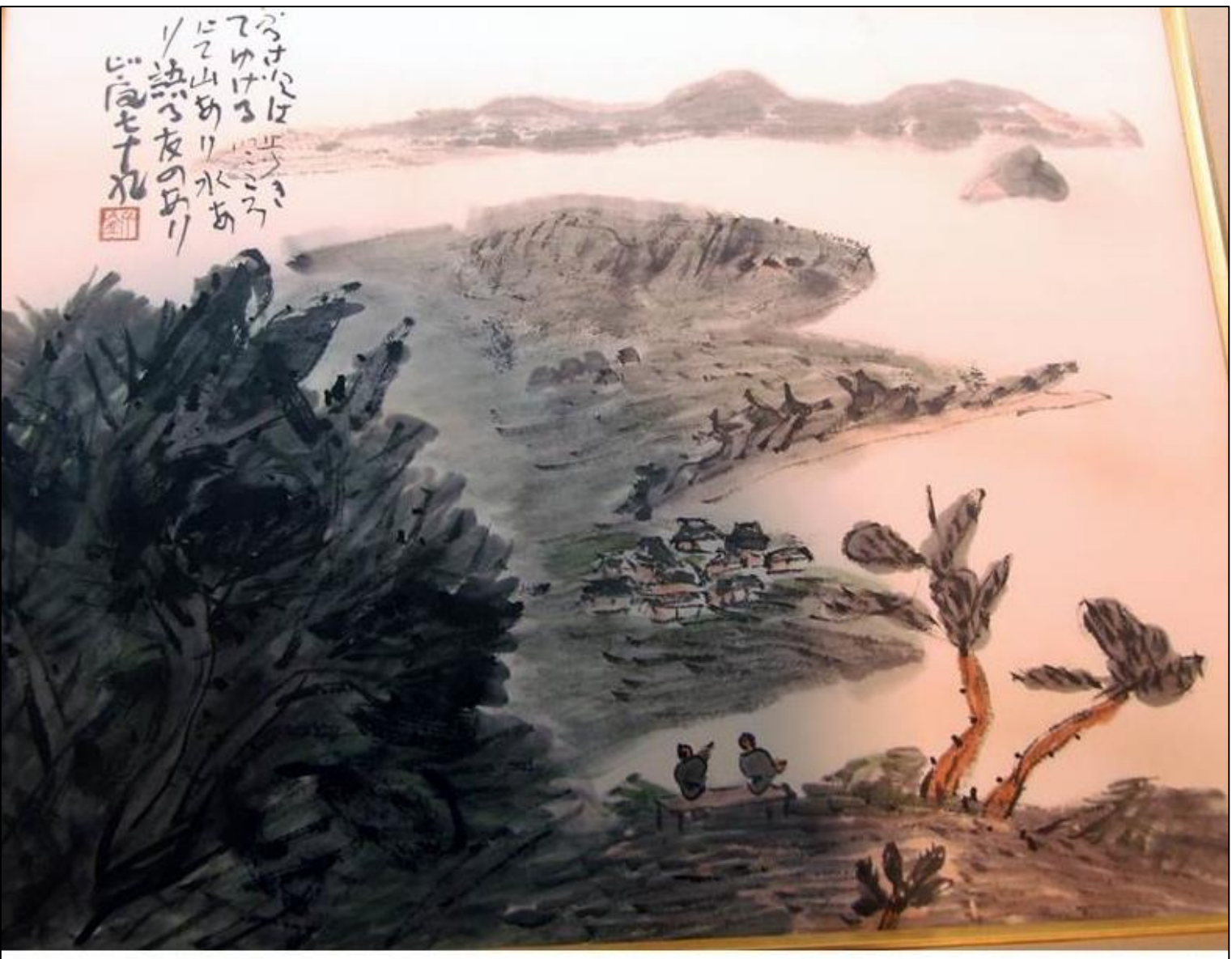
春の日は霞たなびき
秋の雨は茸群立つ
松山は春も見るべし
秋も遊ぶべし
比庵



ふるさと(2)

ふるさととは 歩いてゆけるといふこと

山あり水あり 語る友のあり 比庵七十九





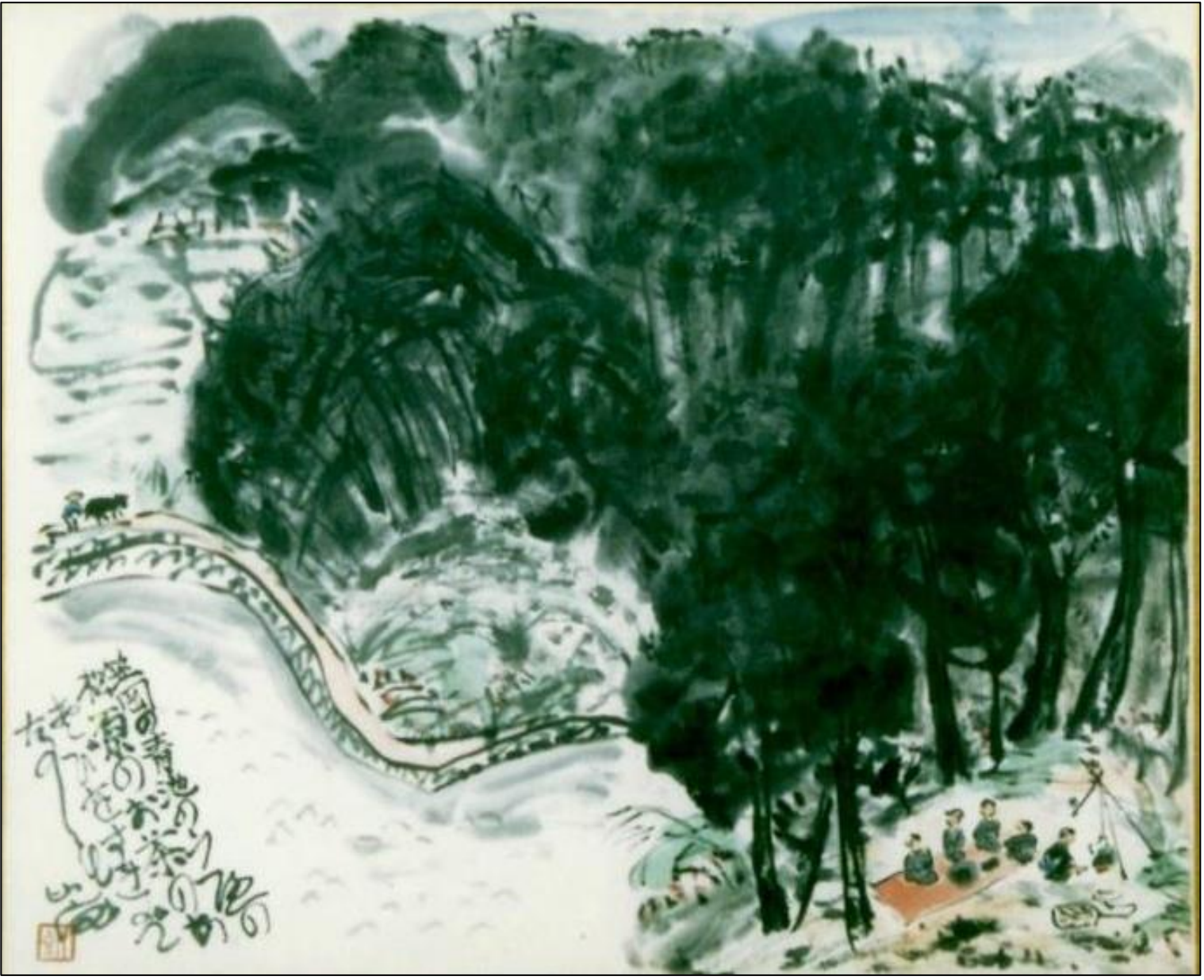
ふるさと(3)

ひさしくも 見ざりし海を ふるさとの かぢみのごとき うみを見はらす 比庵

城山

城山ゆ みおろす海を むれ(群れ)つゝも
ひかりてひくゝ わたる鳥あり 比庵





笠岡のお茶のあそび

笠岡の 青池のうゑの 松原の

お茶のあそびを すれどたのしも

比庵

山畑(島の女)

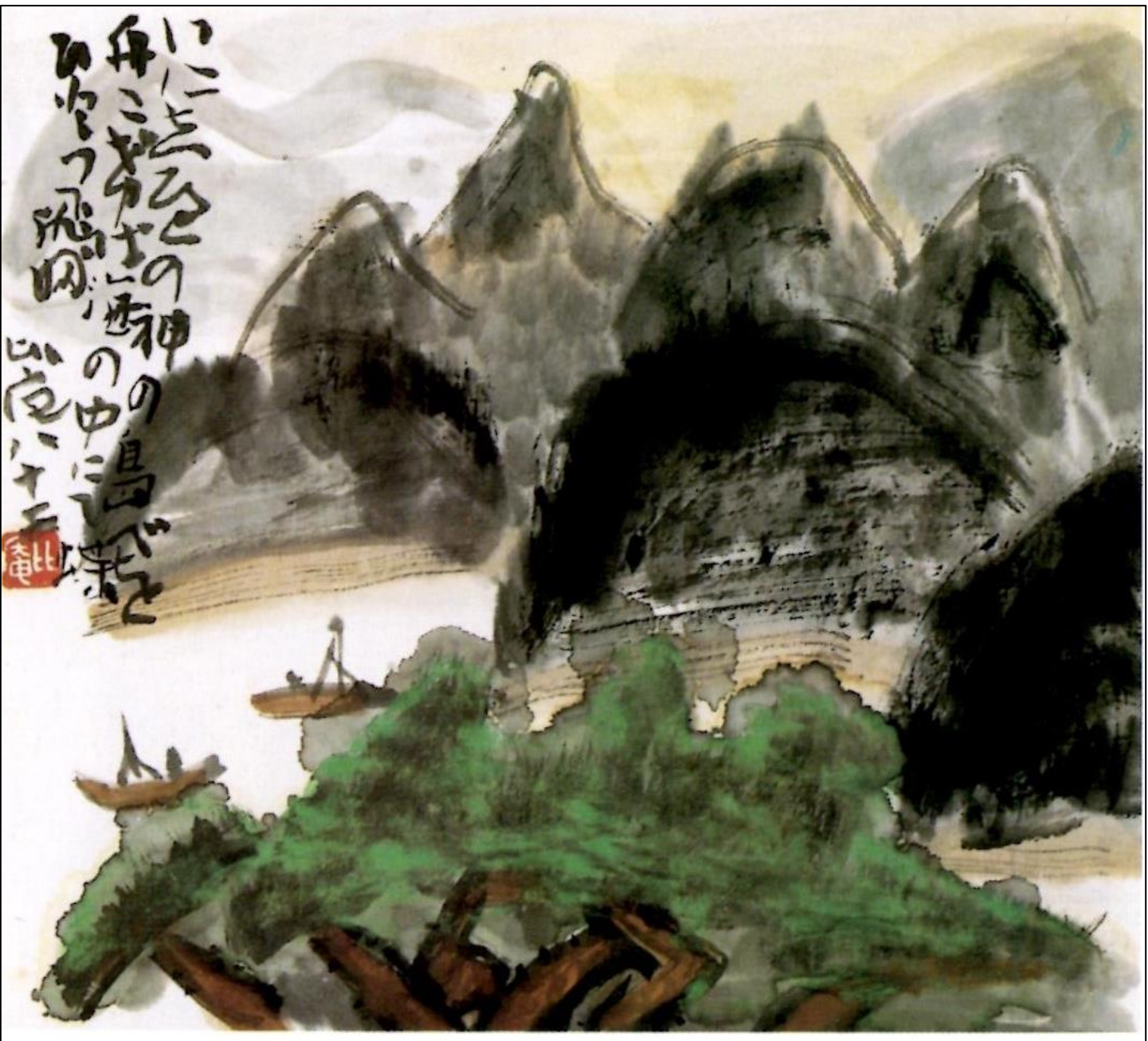
山畑の草をとりつゝたかだかと 隣りの畑とかたりあふ
島の女の平らけき その日その日の安らけき 彼家此家の
さまざまの よしなしごとの美しき 聲のまにまに山鳩は
松の林に頬白は 森のこずゑにさへづりかはす 比庵



神の島

いにしゑの神の島へを舟にげば

海の中にて 蝶ひとつ飛ぶ 比庵八十二





ふるさとのつゞじ

つゞじ咲く ふるさとの山 そのむかし 上りしまゝに 路のあるかも 比庵八十七

B-24



海に見える路



瀬戸の海辺(1)



瀬戸の海辺(2)

瀬戸内の松

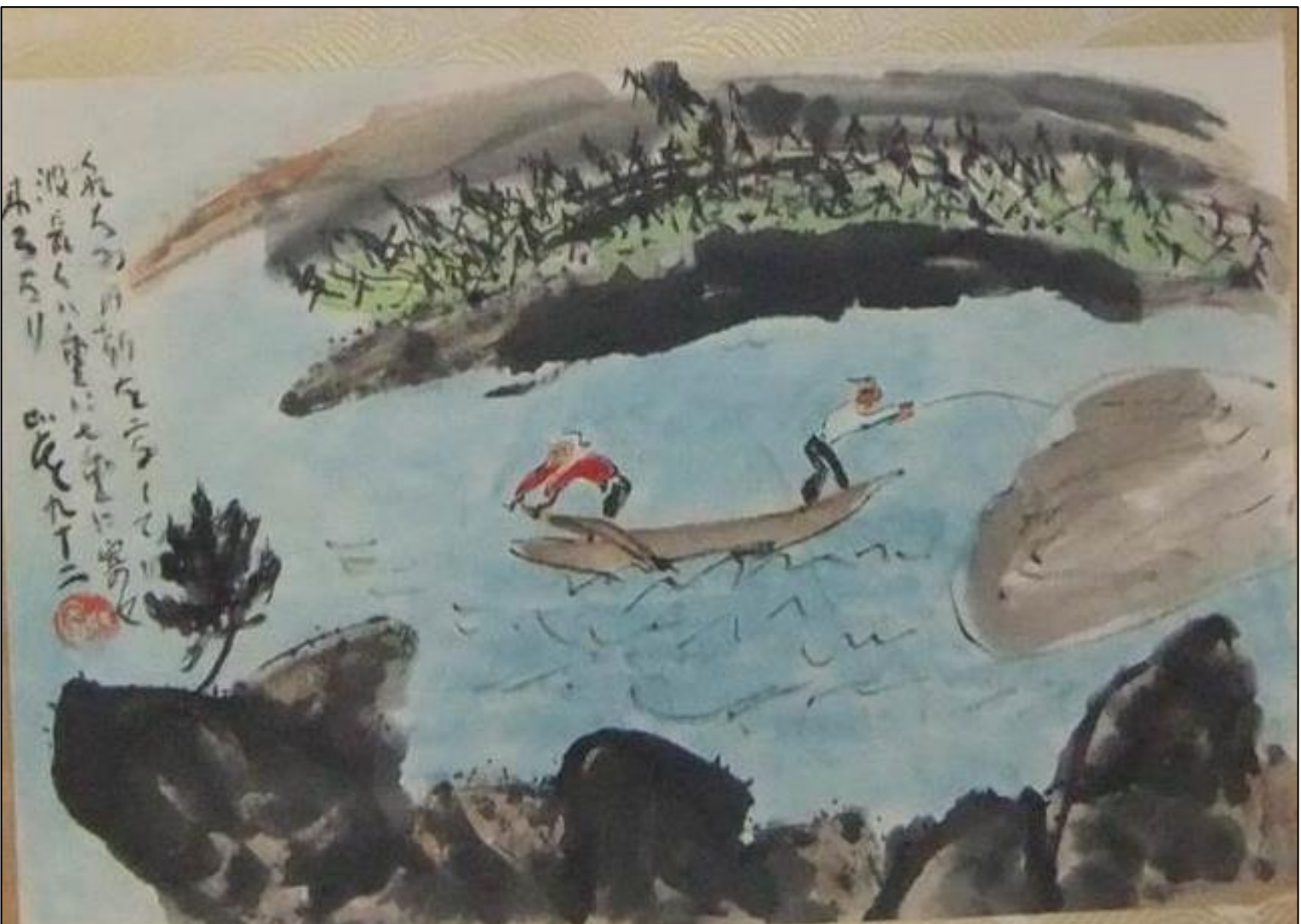


投網

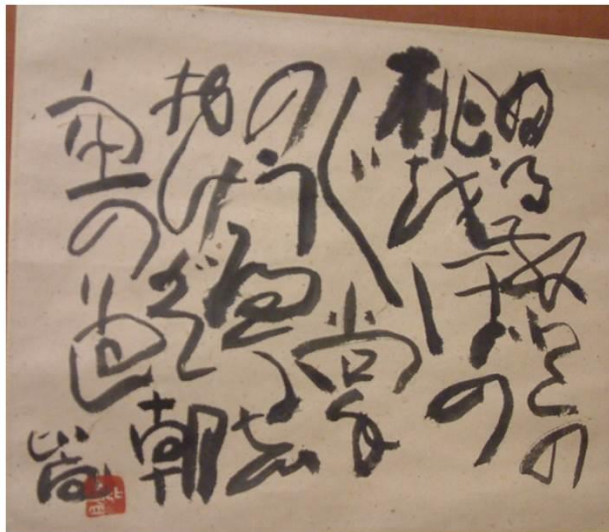
くれなるに 朝を写して 波高く

八重に七重に 寄せ来るなり

比庵九十二

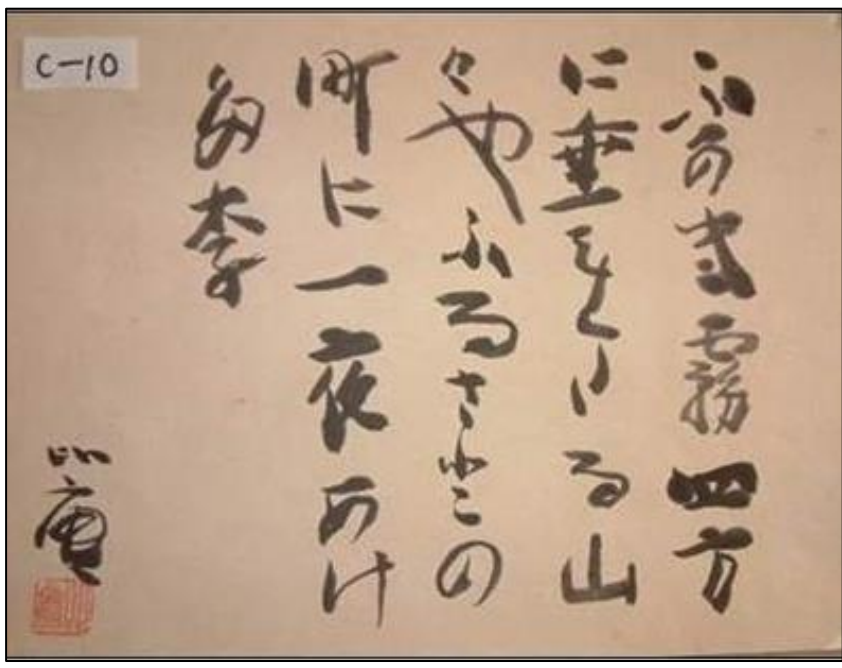


ふるさと

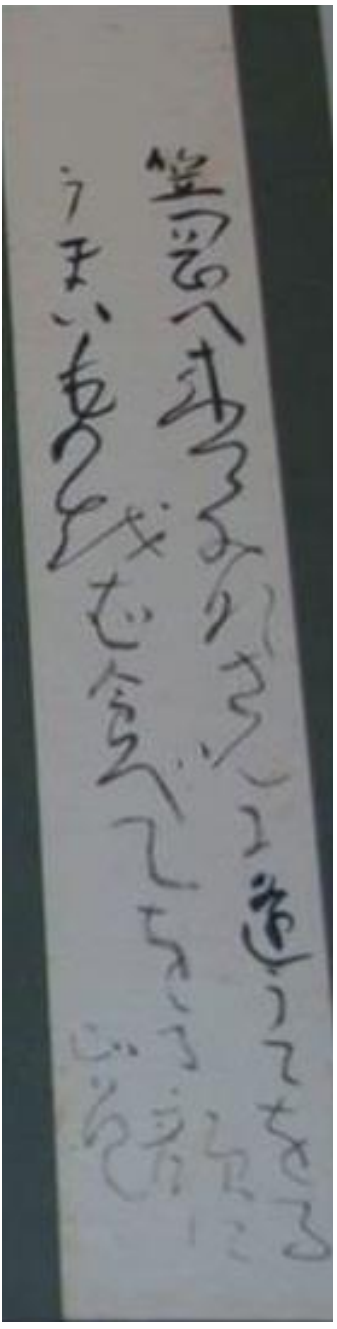


ふるさとの 桃をほのぼの 掌の
うきにおけば 朝顔の色

比庵



ふかき霧 四方に垂れたる 山々や
ふるさとの町に 一夜あけたり 比庵



笠岡へ 来てみなさんに 逢うてをる
うまいものをば 食べてをる顔に

比庵



• 絵手紙の画(六十九歳)



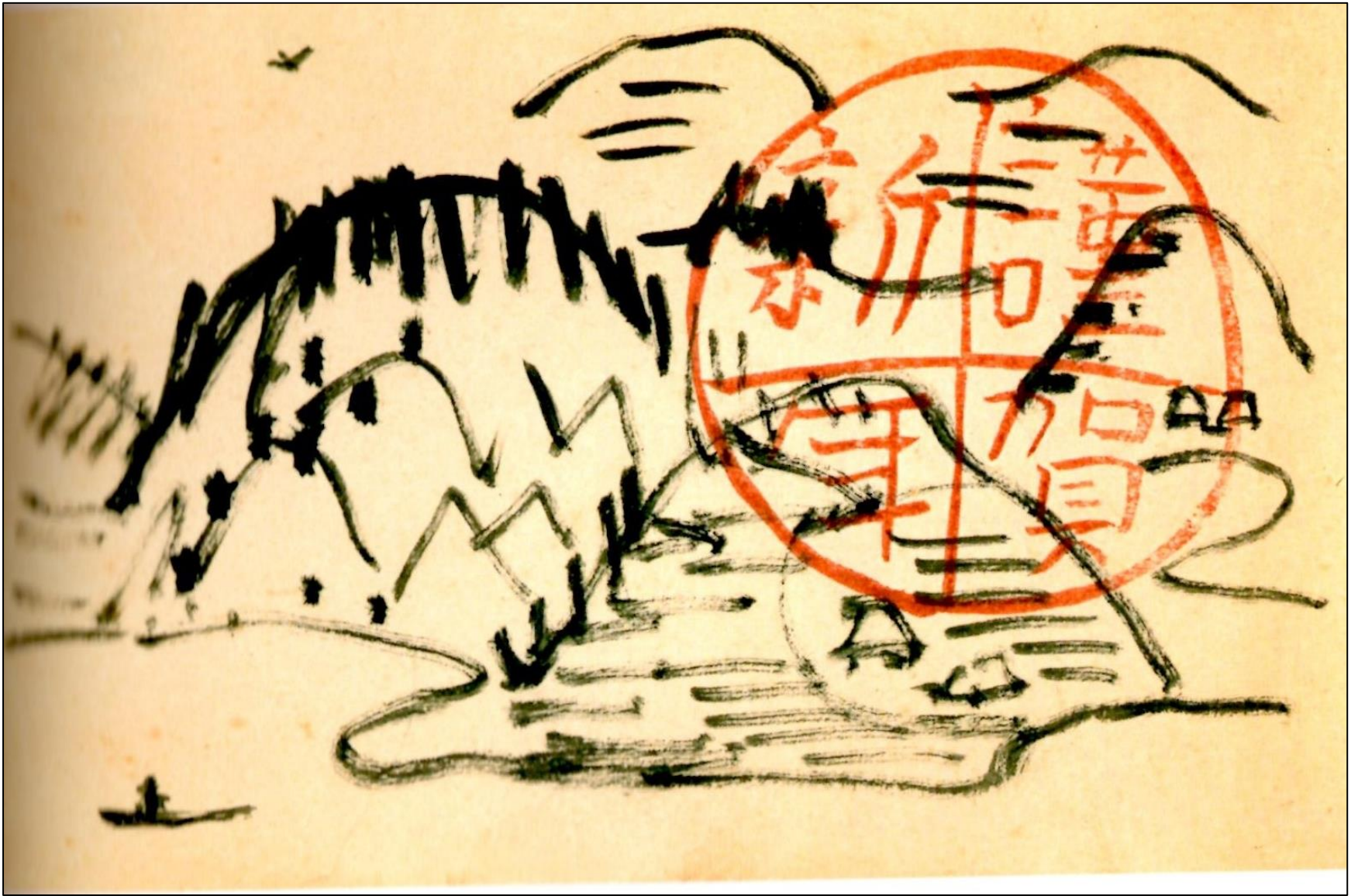
絵手紙の画（六十九歳）



絵手紙の画(桃畑 七十一歳)



絵手紙の画(七十二歳)



- 絵手紙の画(年賀状 七十四歳)



絵手紙の画 (77歳)

玉葱と唐辛子

画 比庵

歌 岡本章



こはる日の

ひさしむくとて

垣の木に

ざるや飯ひつ

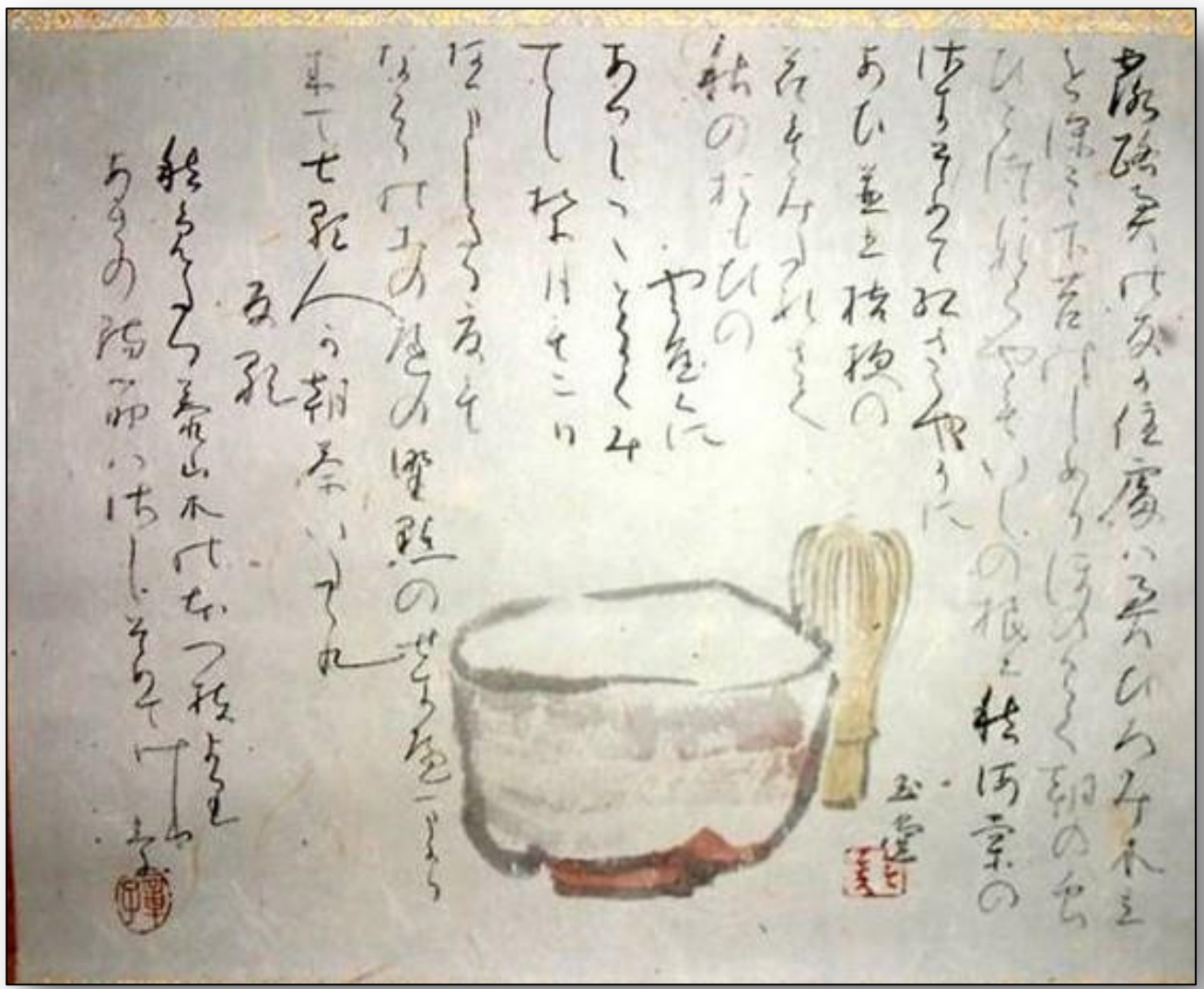
かけならべたる

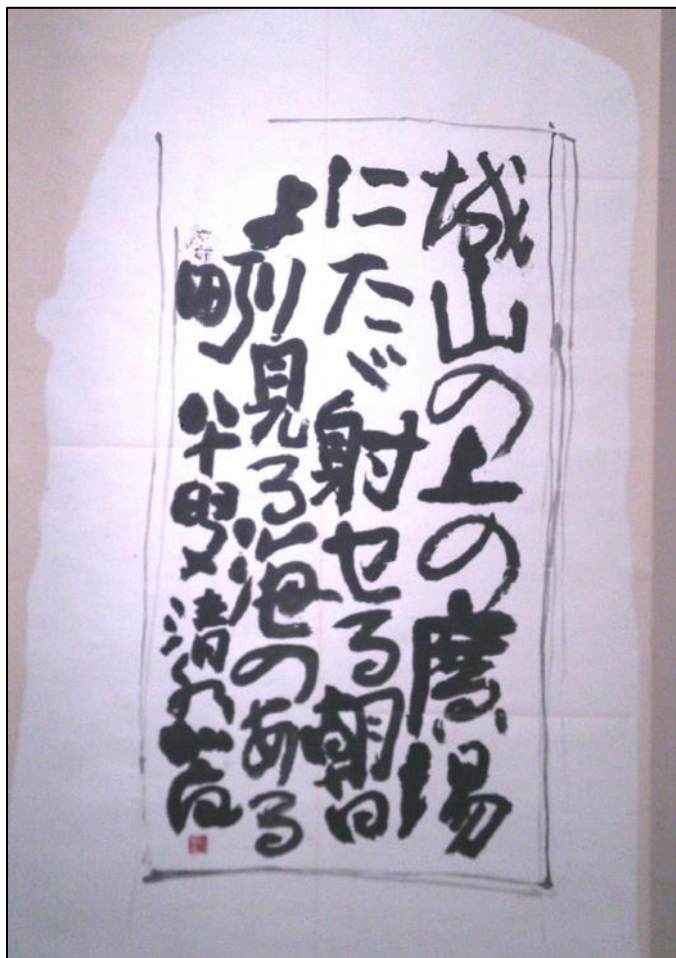
茶事 画 川合玉堂 歌 岡本章子

露路奥の 友が住処は 奥ひろみ 木立を深み 下苔の
 しめりほのけく 朝のむし ひとつなきある いしの根に
 秋海棠も 咲きそめて 紅さやかに あひ並び 桔梗の花も
 乱れさく 秋のすがたの やうやくに 暑し暑しと にくみてし
 葉月も二日 あましたる 夏もなごりの この庭の 野点の席へ
 まかりきて 七歌人が 朝茶いたどく

反歌 秋めたつ 泰山木の ほつ枝より

あさの陽筋は さしそめてけり



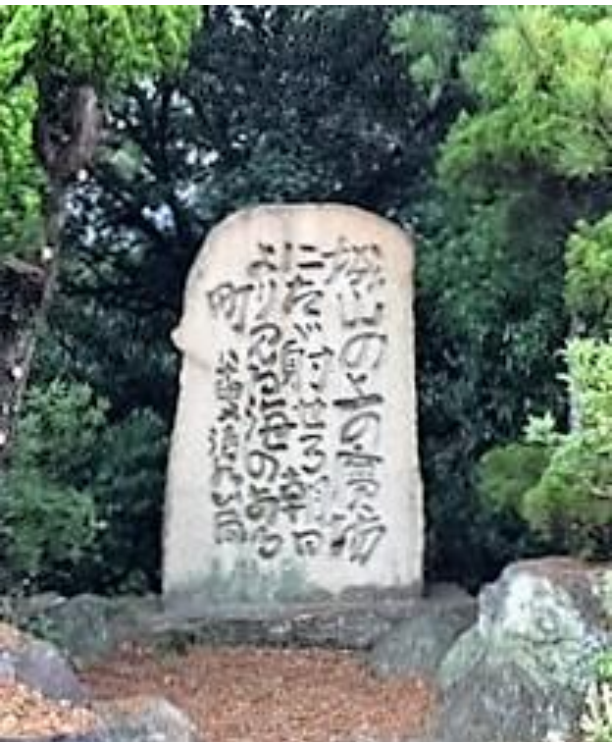


岡山県笠岡市古城山公園の歌碑(80歳)

左:草稿

右:直書きの歌碑

比庵の歌碑 笠岡



古城山公園
城山の
上の廣場に
たゞ射せる
朝日より見る
海にある町
八十叟清水比庵



中央図書館前
柳はみどり
花はくれなる
食べ物は天ふら
糸づくり
酒は飲まねど
八十八叟清水比庵



威徳寺
屋根の間に
城山の月
少し見え
涼しき月を
高く上たり
清水比庵

比庵の墓(1)

比庵の墓は三か所あり、分骨されている。

- ①生まれ故郷の岡山県高梁市松連寺
- ②笠岡市威徳寺
- ③東京都雑司ヶ谷墓地

①高梁市松連寺の墓

比庵と弟三溪の共同墓地で境内に同市名誉市民に推戴されたときの歌碑がある。



山河の
遠きみおやの
墓どころ
名誉市民比
比庵つゝしみて

②笠岡市威徳寺の墓

清水家の菩提寺であり、比庵夫妻の墓のほかに両親の墓、弟清水郁夫妻の墓、妹章子の墓があり、比庵は「院殿大居士」として葬られている。境内には比庵死後に建立された歌碑と梵鐘がある

歌碑

屋根の間に 城山の松 少し見え
涼しき月を 高く上たり



梵鐘

父母の 墓にまゐれば 冬ながら
あたゝかにして 海も見ゆるに

比庵歌 三溪八十三



③東京都雑司ヶ谷墓地

比庵(分骨)のほか娘夫婦と
孫(娘夫婦の長男)が納骨されている



比庵の墓(2)

威徳寺の墓碑

① 両親の墓碑



② 比庵夫妻の墓碑



まどかなる夢をむすぶといふことの
いかにまどげきものにあるかも 比庵



清光院殿比庵禅徹大居士



③ 弟 清水郁夫妻の墓碑



④ 妹 岡本章子の墓碑



あたゝかき 人にかこまれ 惜しまれて
且つ仰がれて しいはせにねむる 兄 比庵



墓の外壁

